

## 第 262 回 昭和の森自然観察会

### 里山の実り (3 時間コース)

日 時：2013 年 10 月 13 日（日）13:00～16:00 天気：秋晴れ

参加者：子ども 9 名 大人 18 名 指導員 13 名 計 40 名

担当指導員：小林義和 川北紀子 武田宏子

武田 宏子（千葉市）

標高 90m～100m の高台にある昭和の森は、3 つの分水界になっています。（鹿島川となって印旛沼へ、村田川となって東京湾へ、小中川となって南白亜川・太平洋へ）  
今回は、鹿島川水系の里山約 8km の散策を楽しみました。

暑さも和らぎ青空の下、昭和の森を出て、あすみが丘東の住宅街を抜け、本寿寺前を通過。外房線・大網街道を横断し、西谷寺前の細道に入り、土気本郷・天満宮を経て西に道を下ると、鹿島川の源流に沿って谷津田が開けていました。田んぼはすでに収穫も終わり、乾田になっていましたが、林縁は自然豊かで、秋の実りいっぱい、ユウガギクも咲きそろい、気持ちの良い散歩道です。

たくさんの実をつけたサルトリイバラ、透き通った赤い実のガマズミ、四角や五角形の赤い実をぶら下げるマユミやツリバナ。圧巻は光を受けてサファイヤイのように輝くサワフタギの実。サルナシの実がちょうど食べごろで、たくさんぶら下がっているのだけれど届かない。ドングリも 4 種類、殻斗の違いに目をつけて、表で確認。朱色に染まったカラスウリを割ってタネを確認。打ち出の小槌型タネは、福が来るようにみんなに分けました。子どもたちには、この種はカマキリ、ハンマーへットシャーク、くまちゃん、宇宙人に見えたようです。

さらに枝谷津に入り、ムクノキの実を味わい、土氣城酒井氏の墓、土氣城周辺から松原地区へ。道標を右に折れ、旧外房線陸橋、善勝寺前を通過し、昭和の森へ戻りました。旧土氣城下の町には、朝方、男衆が取り付けたという縣神社の秋祭り（10 月 20 日）用の幟旗竿が 3 つそびえていました。

〈その他の実り〉 … ソヨゴ、ナナカマド、アキニレ、コブシ、ハナミズキ、アケビ、シャリンバイ、テングノカクレミノ、ヨウシュヤマゴボウ、センダン、ナンテン、シラカシ、コナラ、クヌギ、スダジイ、アオキ、イヌシデ、ノシラン、ヤブミョウガ、カラタチ、柿、落花生、栗、アズキ、ゴンズイ、エノキ、カマツカ、ムラサキシキブ、シロダモ、キブシ、イヌガヤ、スイカズラ、ツタウルシ、フジ、クサギ、アカネ、ヤマノイモ、オチャ、ガマノホ、ケンポナシ、コウヨウザンなど

#### ＜参加者の感想＞

- ・普段歩かない道を覚えて楽しかった。
- ・秋の実りや里山の風景を堪能できた。
- ・いろいろな実があって、メモ用紙がいっぱいになった。
- ・親子でゆっくり自然観察ができて良かった。
- ・子どもの自然に対する興味が分かってよかったです。  
(反省)・子ども向けコースも考えておきたい。  
(今回は急遽子どもグループを編成)

